

看護学部／看護学科	職名	准教授	氏名	田中 美樹
-----------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

看護師として集中治療室、NICU 等での勤務を経てのち、グリフィス大学（オーストラリア）へ留学し学士を取得しました。帰国後、名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程へ進み、修了後より看護教育に携わっています。

現在、本学こどもコース教員とともに、入院中であつても子どもが子どもらしく生活を送れるため（子どもの最善の利益を守るため）の、保育士と看護師の協働に関する研究および、検査や処置を受ける子どもの“こころの準備”のためのプレパレーションに関する研究や絵本プロジェクトを進めています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 松尾 ひとみ編集、小神野 雅子、田中 美樹、濱田 裕子、平田 美佳、藤田 紋佳、本田 真也、吉川 未桜. 子どもの生活機能の発達とからだの仕組み-看護形態機能学の視点から-第2章「食べる」. 株式会社金芳堂（京都市）. 2024年3月31日
- ・ 吉川 未桜、吉田 麻美、田中 美樹. 小児のフィジカルアセスメント技術の段階的習得を目指して-保育園年長クラスの子どものたちの演習参加の試み-九州・沖縄小児看護教育研究会誌第23号.2024年
- ・ 田中 美樹、吉川 未桜、吉田 麻美、中原 雄一、杉野 寿子、池田 孝博. 入院中の子どもを支える保育士と看護師の専門性を活かした協働 第1報-業務内容の現状分析-. 福岡県立大学看護学部紀要第20巻. 2023年.pp9-20
- ・ 吉川 未桜、田中 美樹、吉田 麻美、中原 雄一、杉野 寿子、池田 孝博. 入院中の子どもを支える保育士と看護師の専門性を活かした協働 第2報-協働の現状と課題-. 福岡県立大学看護学部紀要第20巻. 2023年.pp21-32
- ・ 田中 美樹、吉川 未桜、吉田 麻美、杉野 寿子、中原 雄一、池田 孝博. 新型コロナウイルス感染症拡大による入院中の子どもを支える上での看護師と保育士の困難感. 福岡県立大学人間社会学部紀要第31巻2号. 2023年.pp85-93
- ・ 平塚 淳子、猪狩 崇、中村 美穂子、小野 順子、吉川 未桜、吉田 麻美、田中 美樹、山下 清香、櫛 直美、尾形 由起子. A県における訪問看護ステーションのBCP策定における現状と課題. 福岡県立大学看護学部紀要第20巻. 2023年.pp41-47
- ・ 杉野 寿子、吉川 未桜、田中 美樹、吉田 麻美、池田 孝博、中原 雄一「入院中の子どもの権利と家族のQOLに関する課題」福岡県立大学人間社会学部紀要第31巻第1号. 2022年. pp71-79
- ・ 田中 美樹、吉川 未桜、尾形 由起子、櫛 直美、吉田 麻美. 小児訪問看護における訪問看護師の困難感と同行訪問研修の試み. 福岡県立大学看護学部紀要19巻.2022年. pp107-114

- ・ 吉川 未桜、吉田 麻美、平塚 淳子、中村 美穂子、大場 美緒、小野 順子、猪狩 崇、山下 清香、田中 美樹、櫛 直美、尾形 由起子. 新型コロナウイルス感染拡大下における訪問看護ステーションの困難と対応. 福岡県立大学看護学部紀要 19 巻.2022 年. pp45-55
- ・ 小野 順子、山下 清香、中村 美穂子、中本 亮、櫛 直美、田中 美樹、吉川 美桜、吉田 麻美、尾形 由起子. A 県における訪問看護ステーションの災害対策の現状と課題-災害時の在宅療養継続に向けて-. 福岡県立大学看護学部紀要 19 巻.2022 年. pp123-132
- ・ 櫛 直美、尾形 由起子、小野 順子、中村 美穂子、大場 美緒、吉田 麻美、猪狩 崇、平塚 淳子、田中 美樹、吉川 未桜、山下 清香. 在宅医療推進における訪問看護ステーション連携への取組に関する一考察. 福岡県立大学看護学部紀要 19 巻.2022 年. pp13-23

②その他最近の業績

- ・ 吉川 未桜、吉田 麻美、田中 美樹. 小児のフィジカルアセスメント技術の段階的習得を目指して-保育園年長クラスの子どもたちの演習参加の試み-. 第 23 回九州・沖縄小児看護教育研究会.2023 年 8 月 19 日. 鹿児島市
- ・ 田中 美樹、野村 さちい、伊藤 舞美、原田 香奈、児玉 和彦 セミナー「やってみたくなる！出来る気がする！プレパレーション」第 31 回日本外来小児科学会. 2022 年. 福岡市

③過去の主要業績

- ・ 杉野 寿子、田中 美樹、吉川 未桜、吉田 麻美、中原 雄一、池田 孝博.保育士養成課程における保健・健康の学びに関する研究.福岡県立大学人間社会学部紀要 29 巻 1 号.2020 年.
- ・ 田中 美樹. 保育所における慢性疾患をもつ子どもへの支援. 保育と保健 vol.19.no.2.2013 年.pp68-72
- ・ 田中 美樹. NICU 退院時と母親への継続的育児支援に関する研究. 日本新生児看護学会 vol.13.no.1.2006 年.pp15-21

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

日本小児保健協会、日本小児看護学会、日本外来小児科学会、日本子ども健康科学学会、日本保育園保健協議会、九州・沖縄小児看護教育研究会、日本看護研究学会、日本家族看護学会、日本国際看護学会

6. 担当授業科目

(看護学部)

人間のライフステージと看護・1単位・1年・後期

看護倫理学・1単位・2年・前期、小児看護学・2単位・2年・後期

小児看護学演習Ⅰ・1単位・3年・前期、小児看護学演習Ⅱ・1単位・3年・後期、小児看護学実習・2単位・3年・後期、専門看護学ゼミ・2単位・3年

統合実習・2単位・4年・前期、卒業研究・2単位・4年

(人間社会学部)

子どもの健康と安全・1単位・2年・前期

(看護学研究科)

小児看護学特論・2単位・1～2年・前期

7. 社会貢献活動

- ・絵本プロジェクト：検査や処置を受ける療養中の子どものための絵本作成（子どもコースと看護科の教員と学生とのコラボレーション）および配布
- ・病院で検査や処置を受ける子どもの家族向けの事前説明ツールの作成と配布

8. 学外講義・講演

- ・福岡県 消防職員専科教育第40回救急科講義「小児・新生児」
- ・北九州市社会福祉研修所 令和5年度保健衛生・安全対策研修「保健計画の作成と活用・事故防止および健康管理」
- ・田川市子育て支援センター子育て中の母親向けセミナー「こんなときどうするの？～」

9. 附属研究所の活動等

- ・福岡県立大学附属研究所研究奨励交付金（重点領域研究）（2年目）「子どもの最善の利益のための看護師と保育士の協働と連携に関する研究」
- ・附属研究所研究推進部会議
- ・令和5年度 附属研究所研究奨励交付金事業成果報告会（2024年2月29日）